

ワンマン列車における列車乗降ドアの取扱いについて

2020年2月25日

JR四国では、冷暖房による車内温度を保持することでお客様サービスを向上させることを目的に、特急列車を除く車掌乗務列車で列車が駅ホームに停車中、お客様によるドア開閉押しボタンでの開閉扱い（半自動扱い）を実施しております。

この半自動扱いをワンマン列車にも拡大し、ドア開閉押しボタンが設置された全ての普通列車で、半自動扱いを実施することとします。

1. 実施日

2020年3月14日（土）から

2. 対象列車

ドア開閉押しボタン設置車両

設置車両・両数 (合計 175 両)	7000系 (36 両)、7200系 (38 両) 1000型 (38 両)、1200型 (18 両)、1500型 (34 両) 9640形 (11 両) (土佐くろしお鉄道(株)所有車両)
-----------------------	---

3. その他

ドア開閉押しボタンを設置していない車両で運転するワンマン列車については、従来通り自動でドアが開閉します。

未設置車両・両数 (合計 43 両)	キハ 40 (10 両)、 キハ 32 (21 両)、キハ 54 (12 両)
-----------------------	--